

24年度の事業計画、予算案など原案通り可決

府国保連合会通常総会



本会通常総会は、3月14日（水）、府国保連合会に37保険者の代表が出席して開かれ、平成24年度の事業計画案、一般会計ならびに各特別会計予算案などの議案を原案通り可決した。

総会では、橋本昭男理事長（城陽市長）の挨拶に続いて、京都府の山口高齢社会対策監より祝辞が披露された。また、国保事業の発展にご尽力いただいた方々に理事長表彰（被表彰者名は総会記事のあとに掲載）が行われ、被表彰者の代表7名が紹介された。

議長に堀忠雄和束町長、議事録署名人に堀口文昭八幡市長と伊藤義浩京都市食品衛生国民健康保険組合理事長の2名を選任して議案審議を行った。



議案は、平成23年度の報告承認事項7件、同年度報告事項1件、24年度の議決事項14件、同年度報告事項2件の計24件。

新年度の事業計画では、国民健康保険を取り巻く状況が大きく変化しようとしている中、平成23年3月策定の「中期経営計画」に基づき、組織体制を整えるとともに、現行事業を継承し、保険者の共同目的達成のため、ニーズに応えるべく支援の資質向上に努めるとした。